

校内に飾る鏡餅 力合わせて完成

北鷹高、年末恒例

北秋田市の秋田北鷹高校（佐々木孝之校長）で26日、年末恒例の餅つきが行われた。

生物資源科と緑地環境科の生徒らが参加し、勢いよくきねを振った。出来たての餅は手で慎重に形を整えながら丸め、職員室や校長室などに飾る鏡餅を作った。残った餅はきな粉などをまぶして味わった。体験学習として大館第一中と鷹巣中、合川中の3年生

計6人も参加した。北鷹高の小川由真さん（2年）は「みんなで協力することでいい鏡餅ができた。校内に飾ることで気持ちを新たに、来年からも勉強などを頑張りたい」と話した。（原田大生）



きねを振り下ろす秋田北鷹高の生徒